

施工説明書

薄型床下収納庫600型

600型用 (ふた板厚15mm・21mm共通)

※ふた板の厚みが21mmの場合は、[]内の記述をご参照ください。

※単位：mm

施工業者様へ

- 使用前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 本書 及び 取扱説明書は紛失や汚れのないようにし、施工終了後、必ず製品と一緒に保管してください。

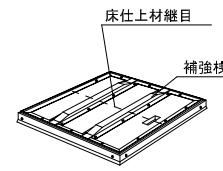
絵表示の説明

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性 及び 物的損害の発生が想定される内容を示しています。

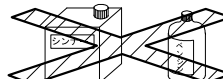
注意 この表示は行為を強制することを告げるものです。図の中や近くに具体的な内容が書かれています。

注意 | 取り付けの前に

注意 補強棧はふた板の木目に直角に取り付けてください。また、ふた板の床仕上材に継目がある場合には、木目の方向に関係なく継目に対して直角に取り付けてください。ふた板の強度が不足しますと、開口部に転落してケガをする恐れがあります。

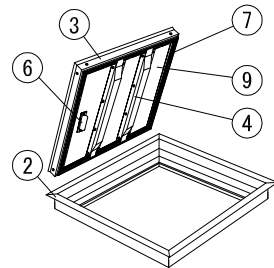


注意 《床下収納庫（共通）の場合》本体は樹脂製ですので火気の使用や溶剤の使用に注意してください。

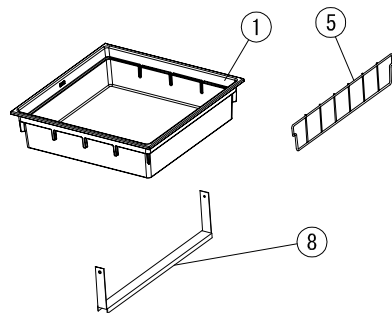


各部の名称

【アルミ枠部分】



【収納庫部分】



各タイプの部品構成

部品番号	部品名称	員数
①	収納庫本体	1
②	アルミ外枠	1
③	アルミふた枠	1
④	補強棧	2
⑤	仕切板 ※2	1
⑥	回転取手・取手カバー	1
⑦	TKスペーサー ※1	1 set
⑧	本体吊金具	1
⑨	化粧板0360 ※2	1

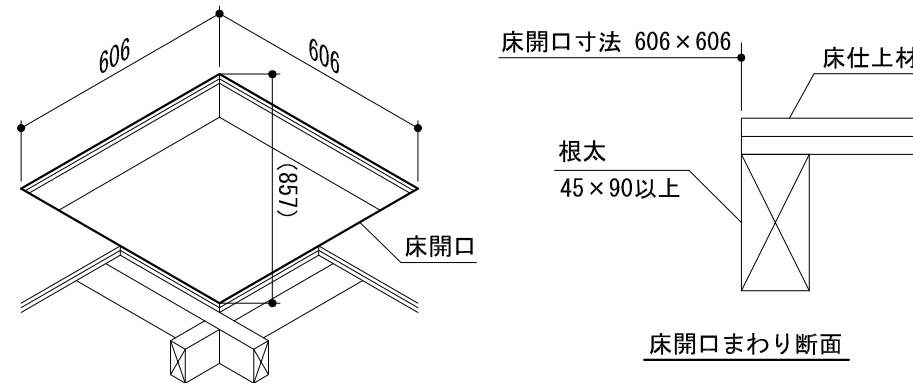
付属部品

	部品名称	員数
袋1：回転取手用	皿小ねじ M4×16[22]	2
袋2：外枠用	皿タッピングねじ 4×30	8
袋3：ふた枠用	皿小ねじ M3×4	2
	なべタッピングねじ 4×12	12
補強棧用 ※3	なべタッピングねじ 4×12	16
本体吊金具用 ※4	皿タッピングねじ 4×20	2

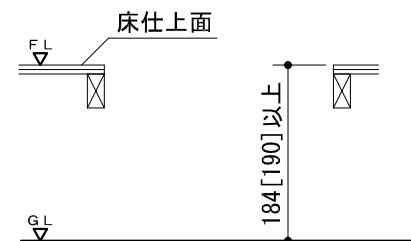
※1：アルミふた枠に貼り付け済みです。 ※2：オプション部材です。
 ※3：補強棧包装ポリ袋内に補強棧1本につきビス8本が同梱されています。
 ※4：本体吊金具に添付されています。

施工方法① 床の開口と床下構造部

1. 床の開口寸法、床下構造部を確認してください。



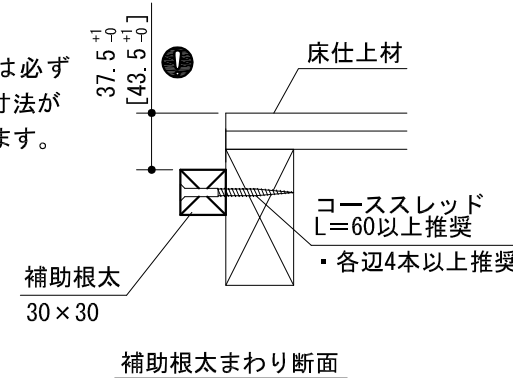
床仕上面から土間までの高さを下記の通り確保してください。



施工方法② アルミ外枠の取付

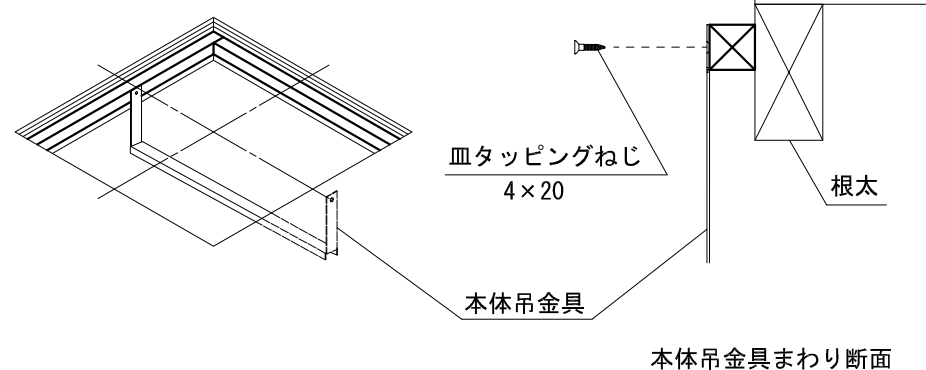
1. 補助根太を設置します

注意 補助根太の取付高さ寸法は必ず守ってください。取付高さ寸法が違ると、不良の原因になります。

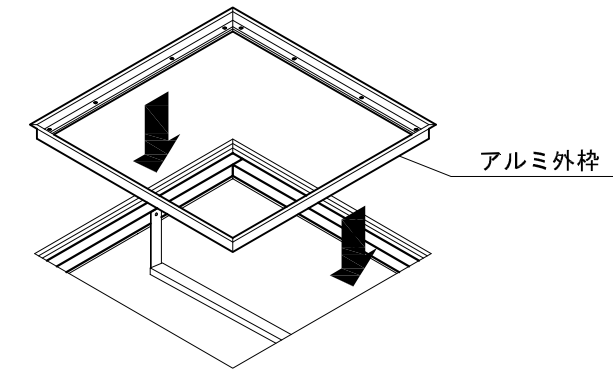


本体吊金具（オプション部材）付の場合

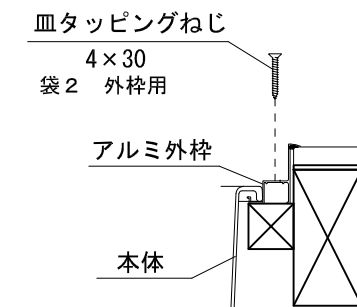
2. 本体吊金具を開口部の中心に取り付けてねじで固定してください。（2箇所）



3. アルミ外枠を開口部にはめ込みます。



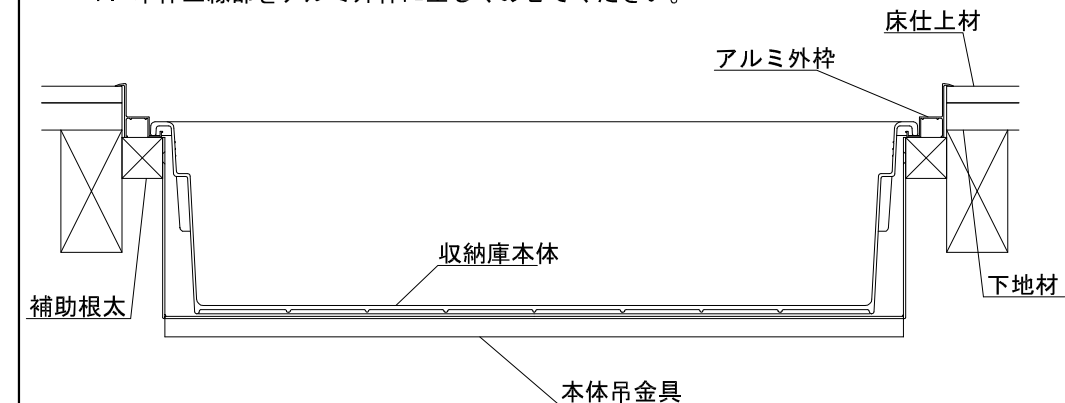
4. アルミ外枠を皿タッピングねじで補助根太に固定します。



注意 外枠用ねじは強く締めすぎないでください。アルミ枠が変形する恐れがあります。

施工方法③ 収納庫本体の取付

1. 本体上縁部をアルミ外枠に正しくのせてください。



注意

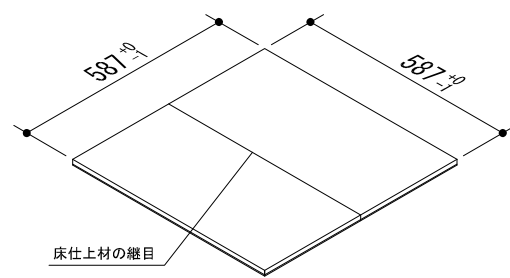
• 収納庫本体がアルミ外枠に正しくのっているか確認してください。浮き上がると、収納庫本体のガタツキの原因になります。

施工方法④ ふたの組立

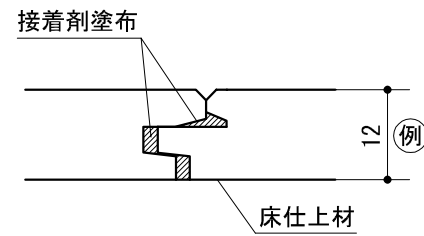
1. 床仕上材（フローリング等 | 現場調達）をカットします。

ふた板の厚みが合計14.5[20.5]mm以上になるよう、床仕上材に厚み調整板（合板等（現場調達）または化粧板（オプション部材））を接着して、厚みを確保してください。接着剤は接着面全面に塗布して十分な強度を保つようにしてください。

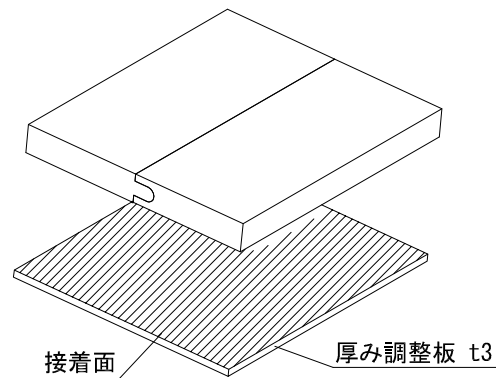
① 床仕上材（フローリング等）のカット



② サネ部の接着



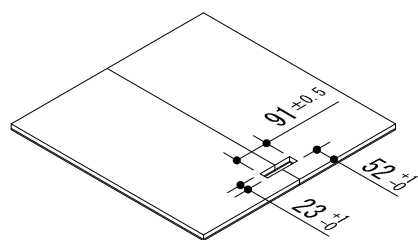
③ 厚み調整板（合板等または化粧板）の貼り付け



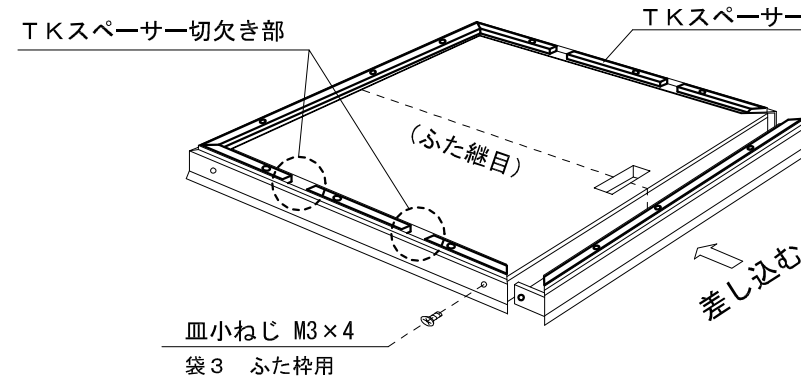
※ヘラ等で全面に均一に塗布する。

- 必ずふた板の厚みを調整してください。調整が不十分な場合製品不良の原因となります。
- フローリングのサネ部及びふた板と調整板の接着は確実に行ってください。接着不良の場合、音鳴りの原因となります。

2. 1のふた板に回転取手用の穴加工を行ってください。



3. アルミふた枠の1辺が外れるようになっているので、ふた板を差し込み、アルミふた枠の側面よりねじで固定してください。（2箇所）

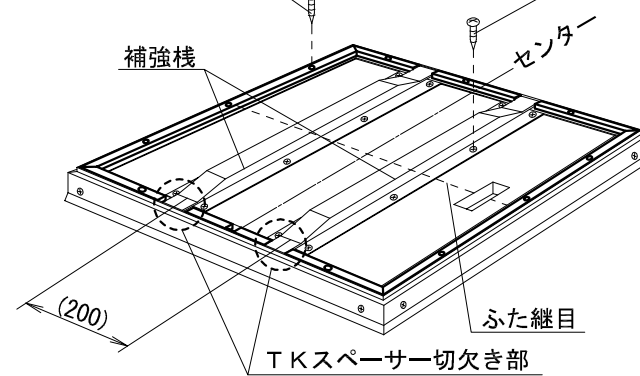


TKスペーサーの場合、切欠き部がある辺がふた継ぎ目と平行であることを確認してください。間違っている場合はもう一度入れ直してください。

4. 組み立てたふた枠とふた板を付属のねじで固定します。（12箇所）

次に補強棧をふた裏面のTKスペーサー切欠き部に取り付けます。（各8箇所）

なベタタッピングねじ 4×12 補強棧用
袋3 ふた枠用

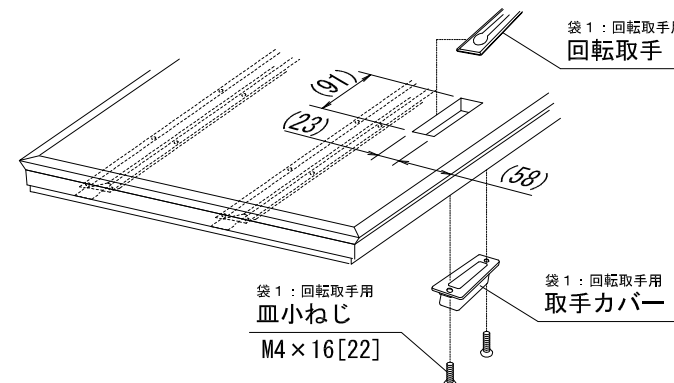


ふた板のフロアに継目のある場合には、図のように継目に対して直角に補強棧を取り付けてください。

5. 回転取手をねじで取り付けます。（2箇所）



手回しドライバーで固定してください。



お願い

本書及び取扱説明書は紛失や汚れのないようにし、施工終了後、施主様にお渡しください。